

最終総合評価に伴うモニタリングチェックシート（令和6年度）

<評価>

施設名	谷原フレンドおよび谷原あおぞら学童クラブ
指定管理者名	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
評価者	指定管理者選定委員会

優：特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良：管理運営が良好と認められるもの
 要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 「指定管理における情報の保護および管理に関する特記事項」等を踏まえ、情報セキュリティ規程や運用マニュアル等を整備するなど、必要な対策を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 労務環境調査の指導・助言事項について必要な対策を講じたか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区と同等の個人情報の取扱いを確保するため独自に規程等を設けているほか、研修を実施する等、適正に運用している。 労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。 労務環境調査で指摘された雇用保険料率の誤りについて、即時に対策を講じ、改善に取り組んだ。 ゴミ分別の徹底、会議のオンライン化・ペーパーレス化、節電等、環境負荷の低減に努めている。 会計規程に従い、適正な会計処理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 運営協議会の評価は良好か 新型コロナウイルス感染症へ適切に対応していたか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等による意見・要望に細やかに対応し、サービス水準の維持・向上に取り組んでいる。 谷原フレンド利用者および学童クラブに在籍する障害児の障害状況や特性に応じた専門研修に参加し、職員の育成に努めている。また、虐待防止研修を実施し、利用者の人権に配慮した支援に努めている。 施設の利用状況は良好である。 利用者アンケートによる満足度は4年間の平均で谷原フレンド76.2%、谷原あおぞら学童クラブ97.5%であり、評価は良好である。 運営協議会の施設運営全体に対する評価は良好である。 コロナ禍では区の指示に基づき、手指消毒やこまめな換気等の感染予防策を徹底し、適切に対応した。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理を適切に行い、記録を整備している。 防災訓練を毎月実施し、災害時マニュアルの見直しを行っている。 施設賠償責任保険に加入しており、損害保険の加入状況は適切である。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がなされている。 再委託の範囲は適正である。 事業計画書に基づき事業が実施されている。 収支計画の提案どおり、概ね目標が達成された。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 区が求めた取組を適切に実施しているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか その他、選定の際に設定した取組の評価 	良	<ul style="list-style-type: none"> 谷原フレンドは、地域で暮らし続けるための取組として、福祉事務所等の関係機関と連携し、新規利用者の受入れを随時行っている。また、入浴サービスについては、チラシの作成・配布等を積極的に行い、利用促進に努めている。 谷原あおぞら学童クラブは、在籍児童が障害について理解を深められるよう、谷原フレンド職員による児童向けの障害に関する勉強会を実施している。また、在籍児童と谷原フレンド利用者が交流するミックスデイの実施など、定期的に両施設の交流を行っている。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 区内雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 専門人材の確保が難しい中、区内雇用率は4年間の平均で谷原フレンド64.5%、谷原あおぞら学童クラブ60.8%であり、区内雇用に努めている。 再委託や物品調達については、可能な限り区内事業者の活用に努めている。 町会と協働での地域交流会の開催や、近隣の学校・施設等との交流等、地域との連携を推進している。
総合評価	(講評) 良	<ul style="list-style-type: none"> 項目全般について、区が求める基準を満たしている。また、谷原フレンドと谷原あおぞら学童クラブが定期的に交流するなど、一体的な施設運営を行っており、利用者アンケートの評価は良好である。 コロナ禍では、区の指示に基づき、手指消毒やこまめな換気等の感染予防策を徹底し、適切に対応した。また、5類移行後も、感染症拡大防止に引き続き取り組んでいる。